

LOPEC 2024 ファイナルレポート

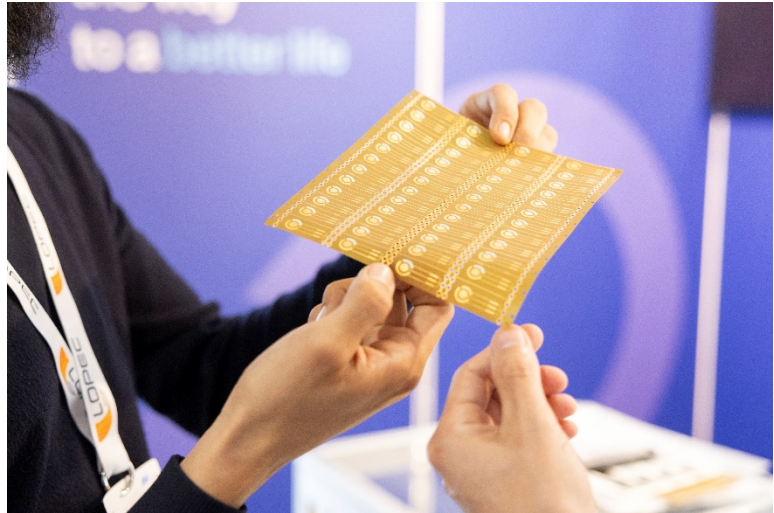
オーガニック&プリントド・エレクトロニクス産業国際見本市・会議
2024年3月5日～7日

2024年3月7日

LOPEC 2024: プリントドエレクトロニクスが持続可能な製品とソリューションを牽引

Summary

- 主要企業、スタートアップ企業、新規出展企業など、28カ国から176社が出展
- LOPECは高い国際性を背景に世界をリードする地位にあることを証明
- プリントドエレクトロニクスが e-モビリティの進展を強力に後押し

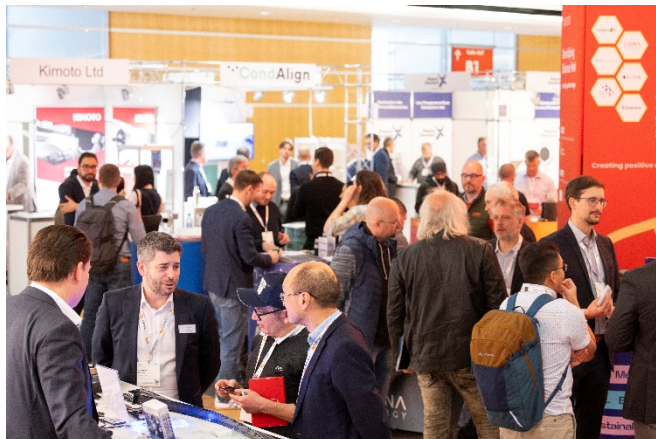


Facts & Data

会 期	見本市:2024年3月6日(水)～7日(木) 会議:2024年3月5日(火)～7日(木)
会 場	ICM – Internationales Congress Center München
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン OE-A – オーガニック・プリントド・エレクトロニクス協会
規 模	4,000 m ² (2023年 4,000 m ²)
出 展 企 業	28カ国から176社 (2023年 25カ国から 167社)
来 場 者 総 数	48カ国から2,400人 (2023年 2,449人)
主 な 出 展 品	マテリアル、コンポーネント、生産プロセス、アSEMBル・パッケージ技術、システム・インテグレーション、インスペクション・テスト・システム、デバイス、アプリケーション、サービスなど
出展日系企業 (現地法人・代理店出展含む)	(株)きもと、信越化学工業(株)、ナガセケムテックス(株)、パナソニックインダストリー(株)、浜松ホトニクス(株)、富士フイルム(株)、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター ほか
専 用 U R L	www.lopec.com (英語/ドイツ語)

LOPEC 2024 は、3月5日から7日までメッセ・ミュンヘンの ICM で開催され、28 国から今回も過去最多の 176 社が出展し、48 国から 2,400 人を超える来場者があり、成功裏に閉幕した。業界をリードする見本市にあって、最も重要とする会議では、フレキシブルエレクトロニクス、オーガニックエレクトロニクス、プリントエレクトロニクスの全範囲のイノベーションとトレンドに関する幅広い情報が提供された。自動車や再生可能エネルギーからヘルスケアに至るまで、ますます多くのエンドユーザー業界が、自社製品をより環境に優しく持続可能なものにするための重要な技術としてそれらの活用が可能となる。

メッセ・ミュンヘンのエグゼクティブディレクター Martin Lechner は、「LOPEC は成長を続け、ダイナミックな業界を反映している。出展者数は過去最高を記録し、ICM 内の通路は業界関係者によって埋め尽くされた。充実した会議やサポートプログラムにおけるトップクラスのプレゼンテーションは、プリントエレクトロニクスが重要なキーテクノロジーとして、いっそう多くの業界で主導的な役割を果たしていることを印象付けた」と述べている。



既にプリントエレクトロニクスが使われている製品として、外骨格用の筋肉センサーや健康状態モニタリング用のウェアラブルシステムから、バッテリー管理システムやインテリジェント・ペーパー・アプリケーションまで、多岐にわたって展示された。LOPEC エキシビジョン・ディレクターの Armin Wittmann は、「LOPEC を通して、私たちの日常生活をより環境に優しく持続可能なものことに貢献する技術をサポートできることを誇りに思う。この見本市で紹介された革新技術が、今後日常生活で活用されていくことを楽しみにしている」と述べている。

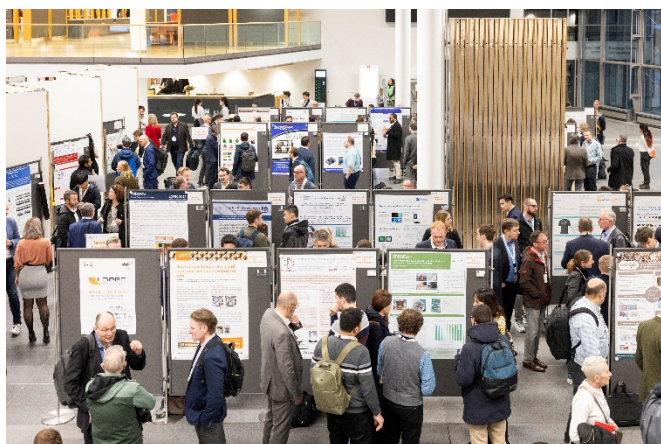
ダイナミックな業界の安定成長

OE-A(Organic and Printed Electronics Association)のマネージングディレクター Klaus Hecker 氏は、「LOPEC 2024 は大成功を収め、業界にとって最も重要な市場としての地位を更に高めた」と口を切り、「来場者は、フレキシブル・プリントエレクトロニクス産業の全貌を掌握し、プリントエレクトロニクス製品の市場がいかに幅広いかを知ることができた。この幅広い製品ポートフォリオからすれば、この業界には強い回復力があり、今後の成長にとって非常に期待が持てる。最近の OE-A によるビジネス環境調査の結果では、2024 年までに 13%、2025 年までに 17%の収益成長が見込まれている」と述べている。

産業界と科学界を結びつける会議

LOPEC Conference では、23 国から参加した業界をリードする企業や著名な研究機関の専門家が、当該関連技術の現状、持続可能な生産の重要性、今後の発展の見通しについて約 180 件のプレゼンテーションによって報告した。Airbus 社、Altana 社、BMW 社、Covestro 社、大日本印刷株式会社、Fraunhofer 社、Heraeus 社、パナソニックインダストリー株式会社などの大手企業の代表者が様々な会議形式で各々の専門とする知見を紹介し、参加者相互に共有した。

LOPEC のジェネラルマネージャー Wolfgang Mildner 氏は、「LOPEC 会議は、業界における国際的な知識共有にとっていかに重要であるか、そして、なぜ特別なものであるのか、改めて伝えたい。その理由は、科学的小および経済的観点からみて、その知識共有はプリント・フレキシブル・エレクトロニクス市場を更に発展させる強い推進力となるからである」と説明している。



知識共有にとっていかに重要であるか、そして、なぜ特別なものであるのか、改めて伝えたい。その理由は、科学的小および経済的観点からみて、その知識共有はプリント・フレキシブル・エレクトロニクス市場を更に発展させる強い推進力となるからである」と説明している。

主要企業、スタートアップ企業、新規出展企業などの多数参加者から高評価

出展者の雰囲気は上々であった。IEE の CTO で OE-A 理事会の副議長の Alain Schumacher 氏は、「私たちは、e-モビリティのためのプリンテ

ッドエレクトロニクス・アプリケーションを海外の来場者に紹介することができ、しかも、ブースは賑わって非常に有意義な見本市であった。そして、LOPEC で展示されたアプリケーションの多くが持続可能性を追求したものであり、それは大変すばらしいことである」と語る。

tesa 社の事業開発責任者 Michael Stromann 氏も、その考えに同意して、「当社は今年初めて LOPEC に出展し、非常に良い経験となった。LOPEC は、パートナーやメーカーと具体的な対話ができ、プリントドエレクトロニクスにおけるより持続可能なソリューションのためのコラボレーションを促進させる優れたプラットフォームだと考えている」と述べる。Covestro 社医療部門のグローバル責任者 Karine Benbelaid 氏も、LOPEC は、プリントドエレクトロニクスの新しい応用分野を発掘し、効率的に連携し、バリューチェーンに沿ってネットワークを拡大するためのプラットフォームであるとして高く評価している。この見本市には、Agfa 社、Coatema 社、Eastman Kodak 社、E Ink 社、Elantas 社、富士フイルムディマティクス社、Henke 社、Heraeus 社、パナソニックインダストリー株式会社など、業界の主要企業が多数出展し、スタートアップ企業も 12 社が出展した。そして、今回はかつてないほど多くの新規出展企業の参加があった。

数字で見る LOPEC

出展者数で見れば、28 の国と地域から 176 社が出展。そのうち約 60% が国外からの出展者で、そのドイツ以外の上位 5 カ国は、アメリカ、フランス、スウェーデン、スペインである。来場者数では、48 の国と地域から 2,400 人超が来場。そのうち約 55% が国外からの来場者で、そのドイツ以外の上位国は、オーストリア、フランス、イギリス、フィンランドである。



次回の LOPEC は、2025 年 2 月 25 日から 27 日（見本市：2 月 26 日から 27 日）まで、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

詳細情報並びに写真は、専用ホームページまで：<http://www.lopec.com>

資料請求、各種お問い合わせ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)